

東光まちづくり推進協議会 会議録 令和6年度 第1回

会議概要	
日時	令和6年6月27日（木曜日）午後6時00分から午後8時00分まで
場所	東部住民センター 2階 会議室
出席者	委員（19名，正副会長以外は50音順） 原田会長，玉田副会長，赤坂委員，阿曾沼委員，五十嵐（巨）委員，兼松委員，齊藤委員，高橋委員，徳光委員，中島委員，中田委員，中村委員，林委員，本間（健）委員，本間（雅）委員，牧野委員，増子委員，松原委員，横山委員，オブザーバー 菊池 地域まると支援員 事務局 地域活動推進課 岩崎課長，小松主幹 東部まちづくりセンター 鈴木所長，真鳥主査，武田主査
会議の公開・非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 東光まちづくり推進協議会委員名簿（令和6年5月24日現在）
	資料2 旭川市地域まちづくり推進協議会設置要綱
	資料3 東光まちづくり推進協議会の会議ルール（案）
	資料4 令和6年度地域で使える補助制度
	資料5 東光まちづくり推進プログラム
	資料6 令和6年度東光まちづくり推進協議会年間スケジュール（予定）

議事の内容

1 開会

会長選任まで、事務局が進行を行った。

2 市民生活部長あいさつ

樽井市民生活部長が当日急遽欠席となったため、挨拶は岩崎地域活動推進課長が行った。

3 委員及び事務局の紹介

委員改選後初めての会議であり、各委員と事務局の紹介が行われた。

4 会議の運営方法について

会議資料の確認を行った後、次第に沿って検討に入った。

(1) 会長選出

「地域まちづくり推進協議会設置要綱」第5条第1項の規定に基づき、原田委員が会長に選出され、本人も承諾した。会長選出に伴い、以後の進行を会長が行った。

(2) 副会長指名

「地域まちづくり推進協議会設置要綱」第5条1項の規定に基づき、玉田委員が副会長に指名され、本人も承諾した。

(3) 会議のルールの確認について

資料3に基づき、事務局から会議のルールについて説明があった。

各委員から特に発言はなく、事務局案のとおり確認された。

5 協議事項

(1) 旭川市地域まちづくり推進事業補助金・負担金について

資料4に基づき、事務局から令和6年度補助金・負担金のメニュー及びスケジュールについて説明があった。

【委員】

包括型まちづくり補助金について、東光地域の上限額はいくらか。

【事務局】

35万円が上限（予算）額となっている。

【会長】

市内の地域で金額は異なるのか。

【事務局】

市内15地域でそれぞれ金額は異なる。

【会長】

規模などでの違いか。

【事務局】

どのような事業を行うのかなどによつての違いである。

【会長】

包括型と単独型補助金の違いはどのようなものか。

【事務局】

例えば、こども・みらい事業の予算は7万円だが、10万円の事業費が必要になった場合、不足する3万円について、包括型で補助金申請をした場合は、包括型事業の他の事業から3万円をやりくりすることが可能である。3つ以上の事業がある地域では、包括型補助金を選択することが多い。

他に各委員から発言はなく、会議のルールについて事務局案のとおり確認された。

（2）東光まちづくり推進プログラムについて

ア 東光まちづくり推進プログラムの内容について

資料5に基づき、事務局から令和6年3月31日時点のまちづくり推進プログラムについて説明あった。

各委員から特に発言はなく、資料のとおり確認された。

イ 令和6年度東光地域で実施される課題解決の取組について

令和6年度に東光地域で実施される課題解決の取組について、すでに活動が開始されている事業について、実行委員会に所属する委員から事業内容、実施状況、今後の予定等について報告があった。

報告のあった事業は次のとおり。

- ・こども・みらい事業
- ・遊び場「トントン村」事業
- ・シニアいきがい事業
- ・東光（U・D）チクリンピック事業

- ・ いつも笑顔で世代間交流事業
- ・ 茶道を通して心を育む「WAの学校」事業

各委員からの発言要旨は次のとおり。

【委員（こども・みらい事業実行委員）】

東光地域では、3年前から学習支援を中心に東部住民センターを会場として、月1回開催している。推進プログラムの「過去の実績」に掲載されている、東光地区子ども朝活事業から発展した事業である。地域の大人と子どもたちが自由な関係性を築き、学習と遊びを通して子ども、大人両者にとっての居場所となるように開催している。同じく東部住民センターで開催しているわいわい食堂とも連携を図っている。その他、インターネットに関する研修会も予定している。

委員から質問等はなし。

【委員（遊び場「トントン村」事業実行委員）】

トントン村の事業は今年で3年目。昨年度までは行政提案型事業として実施、今年から包括型事業の一部に含めていただいた。地域の民生委員と有志の方の協力を得て、まずは遊びを中心として交流を図っている。子どもたちが安心して暮らせるよう、地域全体で子どもを見守る環境作りを事業目的としている。

実行委員は、私が68で最も若く、上は80歳の計8名で行っており、高齢者のいきがい作りの側面もある。月2回、第1・3土曜日の2時から4時、東部東陽町内会館で行っている。秋には、ふじ公園での焼き芋体験を予定している。

参加対象は基本的に小学生、幼稚園児。共栄小と第3小には、開催案内を計560枚ほど配付しているが、毎回の参加人数にばらつきが大きいことを憂慮して、子どもが喜びそうなものを考えながらやっている。テーブルホッケー、公園ではモルック、パンケーキ作りが主。前回開催時にはお好み焼きを作った。年間で21～22回実施している。

【会長】

参加する子どもたちは何人くらいか。

【委員】

昨年の実績から、公園での焼き芋イベント開催時には、子ども20名程、親御さんも含めると30名くらいの方が集まった。町内会館のときは、多くて12名程度。10名くらいの参加であれば、会館内を走り回れるので、人数的にはちょうどよいと感じている。

【会長】

中学生もいるのか。

【委員】

小学生を対象としている。

その他、委員から質問等はなし。

【委員（シニアいきがい事業実行委員）】

当実行委員会では、6月25日にちよだカフェを開催した。認知症のご家族を介護する方達をお呼びし、東部中央公園で開催した。天気の関係もあるが、今回は実行委員も含め20名程度と例年より少なかったので、開催方法などの見直しが必要と思われる。

4年前にこの実行委員会を立ち上げた際、認知症に関する事業に取り組むことが最初に決まった。認知症に関しては、ご家族の方としては、なるべく隠したいという気持ちがあるため、よりそうことが難しい部分があると感じている。今後の予定は、パネル展、再度のちよだカフェを開催。

この他、依然として被害がなくなる、特殊詐欺の講習会を年1回、年末を前に開催予定。

講習会の参加者は減っているが、被害自体は減っているわけではないので、講習会の開催の必要性は感じている。もう一つは、7月1日に開催予定の、男の料理教室。今回は4回目だが、人気のある事業。予算の関係上、年に2～3回が限度。市に依頼しての栄養講座も取り入れたいと考える。その他未定ではあるが、スマホ教室なども予定している。

【会長】

事業の回数が多いから大変では。

【委員】

多いが、継続することが大切だと思っている。

【会長】

先日のちよだカフェは野外だったようだが、天候に左右されない室内でもよいのでは。

【委員】

千代田地区のケーキ屋でこじんまりとやったこともある。そこから広げて現在に至った経緯がある。今回人数が減った部分については、今後対策が必要。

その他、委員から質問等はなし。

【委員（東光（U・D）チクリンピック事業実行委員）】

東光チクリンピック事業では、8月31日に東光スポーツ公園を拠点として、東光健康ウォーキングを実施予定。当日は、龍谷高校の生徒にも参加いただき、ウォーキングを通じて多世代交流ができればと考えている。10月4日には、東光地域の市民委員会対抗パークゴルフ大会を予定している。

ボッチャに関しては、毎月1回東部住民センターで体験会を行っているほか、アモールショッピングセンターでの体験会、会場は未定ですが、昨年度に引き続き東光ボッチャカップと称した大会も予定している。ショッピングセンターでの体験会や大会については、千代田小学校の児童が実行委員として参加しており、子どもたちと共に企画を進めている。

委員から質問等はなし。

【委員（いつも笑顔で世代間交流事業実行委員）】

いつも笑顔で世代間交流事業では、スポーツ吹矢による健康づくり、世代間交流の場を継続して実施しています。毎月第2第4金曜日、東部住民センターで実施し、毎回10名程度の参加者

があり、皆さん真剣に取り組んでいる。

委員から質問等はなし。

【委員（茶道を通して心を育む「WAの学校」事業実行委員）】

本事業は、子どもたちに抹茶の経験をさせてあげたい、和の伝統文化を子どもたちに繋いでいきたいという思いがあって始めた。6月16日の第1回目は参加者20名、スタッフも含め30名の規模で行った。7月21日は、子どもたちに浴衣を着てもらい抹茶を運ぶ練習を、8月25日には、地域の方のご協力いただき、子どもたちがお茶を運ぶお茶会を予定している。みなさん足を運んでいただきたいと思う。子どもは、ほんのわずかな経験でも、大人の方に自分の姿を見せることを楽しみにしている。

事業を行うにあたり、お菓子の壁がある。お茶には茶菓子がつきものだが、負担金の性質上、できあがったお菓子を購入することができないので、スタッフが試行錯誤して、琥珀糖を作ることになった。25日には、茶菓子も手作りで提供できる。

スタッフの年齢は、40代の若いスタッフがほとんど。高校生もいる。子どもたちを支えるつもりで、25日には委員の皆さんにも参加していただけるとありがたい。

【会長】

これまでの実行委員の説明を受けて、気がついたこと、質問等あれば。

委員から質問等はなし。

(3) 年間スケジュールについて

資料6に基づき、事務局から令和6年度の東光まちづくり推進協議会の開催スケジュール、市内全体のまち協事業（「実行委員実践交流会」「まち協総合研修会」）について説明があった。

各委員から特に意見等はなく、資料のとおり確認された。

6 その他

会長から、東光地域の市民委員会、地区社協等役員を対象とした講演会に関する情報提供があった。

事務局から次の4点について説明があった。

1. 地域のチカラについて
2. 各事業の実行委員名簿について
3. 東光まちづくり連絡会について
4. 会議出席にかかる謝礼について

7 閉会